

令和〇〇年度 強度行動障がいをもつ児者支援の地域支援アセスメントシート

作成年月日		次回更新予定（年月）	記入課
-------	--	------------	-----

＜Ⅰ＞地域アセスメント内容（地域診断）

（１）強度行動障がいをもつ児者の実態把握

★地域内の強度行動障がいをもつ児者の人数を把握しましょう。

①障がい支援区分認定者数	②①の内、強度行動障がいをもつ者（行動関連項目10点以上）の数	③②の内、行動関連項目18点以上の者の数	④強度行動障がいをもつ児（児基準20点以上）の数

★地域内の強度行動障がいをもつ者の住まいの場を把握しましょう。

①入所している強度行動障がい者の数			
②入所待機している強度行動障がい者の現在の住まい	GH		家族と同居
	1人暮らし		その他

（２）地域内の社会資源の実態把握

★地域内の障がい福祉サービス事業所の量や質を把握しましょう。

（ア）市内の全事業所数（主たる事業所数。必要に応じて従たる事業所数）

（イ）行動援護従業者養成研修または強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）修了が要件の加算を取っている事業所数（他市町村分含む）

（ウ）中核的人材養成研修修了が要件の加算を取っている事業所数

障がい福祉サービスの種類	（ア）	（イ）	（イ）のうち地元市町村にあるもの	（ウ）	（ウ）のうち地元市町村にあるもの
生活介護					
短期入所					
共同生活援助					
施設入所支援					
重度訪問介護					
行動援護					
重度障がい者等包括支援					
放課後等デイサービス					
児童発達支援					
その他の日中活動系					
その他の訪問系					

	（ア）	（イ）	強度行動障がいをもつ児者のセルフプラン数
計画相談支援			
障がい児相談支援			

	設置の有無	強度行動障がいをもつ児者の活用状況
地域生活支援拠点		

(3) 地域内のネットワーク

★強度行動障がい児を有する児者について考える場について確認しましょう。

実施内容 (例)	実績	中心機関	開催頻度
強度行動障がいの基本的な理解を普及する研修会等			
事業所間での事例検討・困難事例把握等の場			
地域課題抽出及び課題検討の場			
社会資源の情報共有及び情報収集の場			
障がい者虐待防止に関する研修の場			
スーパーバイザーや地域の支援リーダーの状況			
※1			

※1 その他各市町独自のネットワークがあればご記入ください。

★活用できる既存組織がないか確認しましょう。

●自立支援協議会

- 定期的な開催が行われているか
- 効果的な運営が行えるよう専門部会などが設置されているか
- 個別支援会議のニーズが吸いあがる仕組みがあるか
- 各障がい福祉サービス事業所が自立支援協議会と繋がっているか
- 地域課題について行政に提言できる仕組みがあるか
- インフォーマルなサービスも含め社会資源を開発できる機能があるか

●相談支援体制の確認

- 計画作成を軸とした計画相談支援・障がい児相談支援は機能しているか
- 市町村が一般的な相談に応じる市町村障がい者相談支援事業（委託相談）が機能しているか
- 相談支援体制の整備や社会資源の開発などを手掛ける基幹相談支援センターや主任相談支援専門員が機能しているか
- 重層的な相談支援機関のネットワークが機能しているか

(4) 家族や地域への支援

★強度行動障がい児を有する児者の家族や地域への支援について確認しましょう。

実施内容 (例)	実績	開催中心機関等 (今後期待できる機関等)	開催頻度
強度行動障がい児を有する児者の家族等の声の集約			
地域への理解啓発活動			
成年後見制度の啓発活動			
インフォーマルな社会資源の情報を共有及び情報収集の場			
継続的なかかわりの場、アフターケアの場			
家族会や家族への支援の場			
※1			

※1 その他各市町独自のネットワークがあればご記入ください。

(5) 市町村が独自で実施している事業

★強度行動障がいをもつ児者を支援するため、市町村が実施している独自の事業があればご記入ください。

事業名	予算額 (年間)	事業内容

< II > < I > (1) ~ (5) で把握した情報から、地域の課題と強み等を挙げましょう。

※右端の入力欄には記入例を記載していますので上書き修正してください。

※サービス種別ごとに把握するのが望ましい。

		入力欄	
事業所の量	上記(2)より	(課題)	強行の方の支援実績があるGHの事業所が少ない。
		(強み)	生活介護、行動援護の事業所は一定数充足している。
		(今後の目標・方向性)	GH向けスキルアップ研修会の企画【優先順位2】
事業所の質	上記(2)より	(課題)	GHにおいては構造化等の支援が行われている事業所が少ない。関係する加算要件を認識していない事業所がある。
		(強み)	〇〇など一部であるが、支援力の高い事業所がある。
		(今後の目標・方向性)	事業所間で支援を共有する場を設定する【優先順位1】
児童期の支援	上記(2)~(4)より	(課題)	就学前の発達教室の参加者が少ない
		(強み)	児童発達支援・放デイの数が年々増えている。
		(今後の目標・方向性)	乳幼児健診に発達教室のPRを積極的に展開する。
ライフステージの支援	上記(2)~(4)より	(課題)	学齢期の行動障がいに対応した支援を行っている事業所が少ない
		(強み)	児童発達支援・放デイの一部の事業所が先駆的な取組あり。
		(今後の目標・方向性)	児童発達支援・放デイの連絡会で支援を共有する場をつくる。
協議の場	上記(3)より	(課題)	事例検討等が行われず情報交換のみになっている。
		(強み)	相談支援事業所連絡会、生活介護事業所連絡会等は充実。
		(今後の目標・方向性)	幹事会で事例検討会の提案を行う。
家族支援	上記(4)より	(課題)	専門職と家族との連携の場がない。
		(強み)	育成会は積極的に定例会を実施している。
		(今後の目標・方向性)	育成会の定例会でヒアリングの場を実施する。【優先順位3】
その他 ()		(課題)	
		(強み)	
		(今後の目標・方向性)	

< III > 協議の場について

市町村等が中心となり、事務局となる機関を選定して準備を進めます。上記等の既存の場を活用する場合は現状に即した形でご記入ください。また、新たな場を作る場合は、開催時期・開催頻度・開催場所等を予め暫定的に設定しましょう。

事務局	
実施時期	
開催頻度	
場所	
予算	
自立支援協議会との連携体制	

(別紙)

(2) 地域内の社会資源の実態把握

(イ) 行動援護従業者養成研修または強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)修了が要件の加算を取っている事業所の具体的な事業所名

障がい福祉サービスの種類	
生活介護	
短期入所	
共同生活援助	
施設入所支援	
重度訪問介護	
行動援護	
重度障がい者等包括支援	
放課後等デイサービス	
児童発達支援	
その他の日中活動系	
その他の訪問系	

(ウ) 中核的人材養成研修修了が要件の加算を取っている事業所の具体的な事業所名

障がい福祉サービスの種類	
生活介護	
短期入所	
共同生活援助	
施設入所支援	
重度訪問介護	
行動援護	
重度障がい者等包括支援	
放課後等デイサービス	
児童発達支援	
その他の日中活動系	
その他の訪問系	